

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 26
平成19年6月25日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

同じページをみんなで見る（インターネット）

授業で子どもたちにインターネットを使わせたいとき、二つの形が考えられます。

- 子どもたちが目的のページを探して、一人一人が情報を得る。
- 子どもたちが一斉に同じページを見て授業をする。

このどちらの形をとるか、初めに決めておく必要があります。はじめのケースの場合は、往々にして、探すだけでその時間が終わってしまうこともあるので、探し方の勉強、と割り切ることもあり得ます。

ここでは、あとの方のケースを考えます。

問題は、一斉に同じページを開く所です。

アドレスを直接**ブラウザ**(Internet Explorerなど)のアドレス欄に書き込んだのでは、小文字に慣れていないために文字をさがすのに時間がかかったり、アルファベットの読み違いもあって書き間違いがあったりして、同じページを開くだけで時間を取られ、授業時間が減ってしまいます。子供達に開かせたいページが複数ある場合には、もっと大変です。

これを楽にするためには、インターネットショートカット、という特殊な**アイコン**(小さい絵表示)の性質を利用するのが一番です。

インターネットを開くと、タイトルバーとアドレス欄の左端にインターネットのマークの付いた、端の折れた紙の形のマークがあります。(サイト独自の絵になっている場合もありますが、使い方は同じです)これを、デスクトップやどこかフォルダの中に**ドラッグ&ドロップ**してできるのが、**インターネットショートカット**です。このアイコンは、ページの名前がファイル名になった、インターネットのアドレス(URLといいます)を持った小さいファイルです。ダブルクリックなどで開くと、パソコンがインターネットにつながっていれば、ページを表示することができます。

この、インターネットショートカットばかりを集めたフォルダを、子供達が読むことのできる場所(パソコン室サーバの「使う」など)においておけば、目的のショートカットを開くことで、みんなで同じインターネットのページを見ることができます。

パソコン室で、このように同じページを生徒機で開く方法は、このやり方がもっとも簡単ですが、ほかにもあります。機会を見て、一つずつ紹介していきます。